

# サンディエゴ日本人教会トピックス【2017年5月】

ジャカラダの紫が美しく咲きほこるサンディエゴの5月の街並木、見る人の心もさわやかになり、気温も温暖で過ごしやすい日々です。母の日には男性方の手料理なるカレーランチをいただき、すばらしい料理の腕前をご披露して下さいました。お母さん方を始め一同は心から感謝し、労われたよき母の日でした。

今月は教会の年度末です。教会総会や、役員選挙などがあり、また、教団では教団総会に先立ち、サンディエゴ教会より2名の代議員を選出しました。子供達の学校では晴れの卒業式などで賑わい、彼らの学生生活の名残りを惜しむ時でもあります。その後、皆さん、いかがお過ごしですか。神様の豊かな祝福をお祈りいたします。

今月のトピックスは次のものを掲載いたします。

1. 教会年度末、役員選挙と代議員選出
2. メモリアルデー礼拝と教会ピクニック
3. コミュニティー・メモリアルデー・サービス / Mt. Hope Cemetery
4. 第4回 Stand Women's Conference に参加して (大野幸子姉)

## 1. 教会年度末、役員選挙と代議員選出

教会の五月は年度末の月です。六月の総会に先立ち、役員方は一年間の報告や、新しい年に向かっての資料提出や、新年度への役員選挙があり、大倉信先生を始め、皆さんは大変忙しい月です。日語部からは、次のみ言葉からお証をされました。ここに掲載いたします。

5月21日の礼拝の後には、八尋ホールで日本語部の臨時総会があり、執事、婦人会の役員選挙がありました（理事は据え置きで、選挙はありませんでした）。新年度の理事、

執事、婦人会役員は次のように決まりました。また今年の教会総会の代議員として町田哲哉兄、かおり姉が選ばれました。婦人会の役員として任期満了となられましたウイトワース英子姉と須波美枝子姉の尊い二年間のお働きを心より感謝いたします。

理事：町田慶太兄、ホワイトナック典子姉、バークスデル喜美子姉

執事：ボートカート兄、西井孝子姉、スコット恵子姉、井上純一兄（再選）、川久裕子姉（再選）

婦人会：ラスカリス敦子姉、町田かおり姉（新）、大野幸子姉（新）

教団総会代議員：町田哲哉兄、かおり姉

## 2. メモリアルデー礼拝と教会ピクニック

5月28日（日）は午前10時より恒例の日英合同メモリアルデー礼拝と教会ピクニックが、Admiral Baker Park で行われました。

賛美から始まり、ゴスペルフラがあり、神を称え、豊かな雰囲気の中で礼拝が始まりました。

礼拝は先ず大倉牧師のメモリアルデーに相応しいウエルカムのご挨拶から始まり、今回は英語部の本多一米先生が日英両語でメッセージを取り次いでくださいました。

会場には所せましと大勢の方達が集まり、とても賑わい、朝早くから来て準備された男性たちがバーベキューの匂いを漂わせ、会場の両脇にある大きな長いテーブルの上には、持ち寄りのご馳走がぎっしりと並び、長い列となりました。バーベキューをいただく方々、日本食に余念のない方々、皆さん自由にのんびりと楽しい会話に心も弾み、良きお交わりが出来、ピクニックデーをエンジョイしていました。

### 3. コミュニティー・メモリアルデー・サービス/ Mt. Hope Cemetery

5月29日（月）初夏の美しい青空のもと、やや寒さを感じつつ、9時半より、3教会合同のメモリアル・サービスがサンディエゴの中心に所在する Mt. Hope Cemetery で行われました。

恒例のセレモニーは、佛教会、パイオニア・オーシャンビュー・キリスト教会、そしてサンディエゴキリスト教会でした。

3教会は毎年牧師方が順に司会、祈祷、メッセージを行い、当教会では、英語部の本多一米先生の日英両語でのお祈りがあり、日語部の大倉信先生はメッセージを取次られ、日英両語で話されました。

二世、三世、四世の多い英語圏の会衆にとって、両先生方が両語で話されたことは、とても素晴らしいことで、とても誇りに思いました。他の教会の牧師方は全部英語圏の方々でした。

式のあと、サンディエゴ教会が用意した白のカーネーションをもって、大倉先生と共に、周りに眠って居られる教会員友人達の墓前に祈りつつお花を捧げて歩きました。

### 4. 第4回 Stand Women's Conference に参加して (大野幸子姉)

2/25/17、第4回 Stand Women's Conference へ行って参りました。私にとって、この Women's Conference への参加は今回が2回目、1回目は今から4年前の初開催の時となります。私は丁度その頃、2005年から我が家を開放して運営してきた「あっぷる家庭幼稚園」を通して、神様は私をどのように用いようとしているのか？私に何ができるのか？と真剣に祈り求めていた頃でした。そしてその第1回目 Stand Women's Conference にて「キリスト教保育を導入する！！」という確固たる決心が与えられ、大きな大きな転機となりました。月日が流れ、今では教職員と子ども達が共に祈り、保育室には賛美の声が溢れ、子ども達は聖書のお話が大好きになりました。今から12年

前の開園当初は3人でスタートした園も学習教室まで加えると今では100名近いお子さんが集い、子ども達の笑い声でいつも溢れかえっています。余談ですが、以前、「ここ最近いつ笑いましたか？」という問いかけに対し、「え～、いつ笑ったかな？」「最近楽しいことがないなあ」といったTV番組を見る機会がありました。その時、私は子ども達のお陰で毎日、毎日笑って暮らしていて、笑わない日が一日たりとてないという事実に気がつかされ、笑うことが当たり前だと思っていた自分の日常が実はなんと幸せなことだったのかと示されました。よく、「神様の祝福」と耳にしますが、まさにこういった状況が「祝福されている」ということなのかなとふと考えた次第です。小さく弱い私を神様がここまで守り導いて下さっていることに感謝の思いでいっぱいです。

とは言え、膨大な量のペーパーワーク、園児、保護者、教職員一人ひとりのケア、背後での保育・行事準備、運営等々、疲労困憊で「もう休ませて下さい！」と不平を言いそうになる日もあるまだまだ弱い私です。でも、その都度、どういう訳か今日までNegativeな方向に流れてしまうことなく、励まして引き上げて下さる方、祈って下さる方、子ども達のために・園のために手伝って下さる方等々、その場その場で必要に応じて適切な人材や解決策を送って下さり、いつの間にか不思議と乗り越えさせて下さり、整えられているのです。神様は実に私の弱い部分、必要をよくご存知で、本当に偉大なお方だどつくづく思い知らされる日々です。

前置きが長くなってしまいました。第1回目に上記のような転機が与えられたことから、いつもこのStand Women's Conferenceのことが気になっていたのですが、2回目、3回目は上手くタイミングが合わず残念ながら参加できずにいました。そして今回、クリスチャンカウンセラーの服部先生による「お母さん、私を見て」という主題がどうしても私の頭から離れずにいたところ、思いがけず仕事の調整がつかしました。それだけでなく長距離運転が苦手な私のために主人が運転を買って出てくれ、参加へと導かれました。

服部先生のお話はとても興味深く、自己を内省する時間となり、中でも「幼少期の親との関わりが大人になってからも大きく大きく影響を及ぼす。」という言葉が強く印象に残りました。と申しますのも、私は常日頃から幼稚園は子ども達にとって第2の我が家であり、先生はお母さんのような存在だと考えて保育に携わっているからです。だからこ

そ、幼稚園の教職員が子ども達に与える影響は計り知れず、責任重大な仕事です。幼い子ども達の心と体と魂を健全に成長させるための幼児教育の役割は非常に大きく、この時期に神様の愛を伝え、子ども達に「あなたは愛されているんだよ。」ということ十分に体感させることが極めて重要であることを改めて認識しました。自分が愛されていることを知っている子どもは、人を信頼し、人を愛することができる人間へ。また、自身を卑下することなくのびのびと自己表現ができる人間へと成長していくといったお話からも私が園を通してやるべきこと、大きな役目がまだまだあるように思いました。もちろん、このことが神様の御心に適ってなければきっと道は閉ざされるでしょう。反対にこのことが神様のご計画であれば、これまで守り導いて下さったようにこれからも私が一人で自分だけの力ではがむしゃらに頑張らなくてもきっと導き祝福して下さると信じています。責任重大で労苦も多いですが、子ども達との関わりを通して、その労苦を増す程の感動と喜びを日々与えて下さる神様に感謝の思いでいっぱいです。そして、これからも「主を信頼していればきっと大丈夫！！」「主は良いもので満たして下さい！！」という確信が与えられ、会の最後に今回示されたことを一言で宣誓して下さい！というコーナーでは、気が付いたら「私を用いて下さい！！」と叫んでしまっていました。（ちなみに一回目は「キリスト教保育を導入します！」と叫んでいました。）

それから毎朝、「主よ。あなたは今日私に何をさせたいですか？御心を成すために用いて下さい。」とお祈りして一日をスタートさせるようになりました。「あっぷる幼稚園」を通して神様が何を成させようとしているのか？チャレンジも多いですが、主のご計画は人知を遥かに超え、私達が思い描いているものよりももっともっと素晴らしいものです。子ども達や保護者の皆さんに撒かれた小さな小さな種がいつの日が神様の時になって実を結ぶ日が来ることを喜びと感謝をもって待ち望む人生にしたいと思います。

最後になりましたが、Stand Women's Conference の会場に南カリフォルニアに住む日本人女性が約 100 人近く一同に介し、賛美と祈りを捧げる姿は圧巻でした。皆さん、とてもパワフルではつらつとしていて、同じ姉妹としてすごく励まされ引き上げられた一日となりました。

「神は神を愛する者たち、すなわち、ご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益としてくださることを私はしている。」聖書ローマ人への手紙 8章28節

### 「お母さん、私を見て」(クリスチャンカウンセラー：服部先生のお話より～)

幼少期の親子（特に母子関係）が大人になってからの人間関係の作り方に大きく反映。  
あなたは？

- ①人（母）に喜ばれると安心する。あるいは相手に合わせて無理をする。
- ②困った人（母）を助ける。自分が何とかしようとする。
- ③困った時に（夫、友人、同僚）に頼らない。自分で何とかしようとする。
- ④周りの人がどう思うか気になる。人（母）の考えに振り回される。
- ⑤自分の疲れに気が付かない。
- ⑥完璧を目指す。
- ⑦子どものわがまま、甘えに怒りを感じる時がある。
- ⑧母のことがいつも頭の片隅にある。

### 健全な絆がある場合 (絆に問題がある場合)

- ①人を信頼できる (甘えられない)
- ②自己表現できる (思ったことが言えない)
- ③居場所があると感じる (周りの目が気になる)
- ④自分に価値があると感じる (人は口で言う事と、心で思っている事が違うと感じる)
- ⑤人を愛せる (友人はいるが親友がない)
- ⑥神との関係が築ける (神との関係を築くのが難しい)

母（⇒人）に認めてもらうために母に合わせて無理をする。母（⇒人）がどう思うかばかりを気にして行動。相手に依存して行動していく内に自分自身がどんどん失われていく。失われた自分=Inner Child. 自分自身の癒されなければならない問題を知り、祈り向き合う。神様から無償の愛で愛されていることを知る。

母親だけの問題ではなく、「世間」「家・制度」「先祖」という偶像が身近にある日本独特の歴史と文化が大きく影響しており、どこの国でもこのような環境で生活すれば、誰でも（何人でも）、そのようなマインドセットになってしまう。日本人であること、クリスチャンであることの葛藤と偶像に打ち勝つための祈りを・・・とおっしゃっていたことが印象に残った。

**「私の目にはあなたは高価で尊い。私はあなたを愛している」旧約聖書イザヤ 43 章 4 節**

ラッドとし子